

### 3 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3- (1) -ア 講演会・講習会等実施状況

(単位：人)

実施日	場所	活動内容	テーマ	対象	参加人数
平成26年 7月11日	浦安市 文化会館	講演会	思春期の心と体の変化 性にまつわる正しい情報 ＜講師＞ 順天堂大学浦安病院 女性専用クリニック副室長 産婦人科医師 高瀬 幸子	浦安市立小中 学校養護教諭	32人
平成26年 8月5日	市川市 教育会館	講演会	思春期の心と体の変化 性にまつわる正しい情報 ＜講師＞ 順天堂大学浦安病院 女性専用クリニック副室長 産婦人科医師 高瀬 幸子	市川市立小中 学校養護教諭	72人
平成26年 9月19日	市川健康福祉 センター	講演会	思春期の男子の性教育を どうすすめるか ＜講師＞ 一橋大学・津田塾大学 講師 村瀬 幸浩	管内小中高校 の養護教諭・ 体育教諭	21人
平成26年 12月18日	千葉県立 浦安南高校	講演会	性の健康講座 ～自分を大切に生きる～ ＜講師＞ あだち助産院 院長（助産師） 足立 千賀子	全校生徒	297人

## (2) エイズ相談受付状況

表3- (2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度 年齢階級		性別	相談方法	男	女	小 計	合 計
平成 24 年度			電話相談	49	17	66	523
			来所相談	320	137	457	
			その他	-	-	-	
平成 25 年度			電話相談	15	15	30	334
			来所相談	199	105	304	
			その他	-	-	-	
平成 26 年度			電話相談	50	31	81	715
			来所相談	442	192	634	
			その他	-	-	-	
年 階 級	～19 歳		電話相談	-	1	1	19
			来所相談	6	12	18	
			その他	-	-	-	
	20 歳～29 歳		電話相談	2	1	3	236
			来所相談	150	83	233	
			その他	-	-	-	
	30 歳～39 歳		電話相談	3	-	3	208
			来所相談	147	58	205	
			その他	-	-	-	
	40 歳～49 歳		電話相談	2	-	2	99
			来所相談	71	26	97	
			その他	-	-	-	
	50 歳～59 歳		電話相談	2	-	2	42
			来所相談	33	7	40	
			その他	-	-	-	
	60 歳～		電話相談	-	-	-	35
			来所相談	30	5	35	
			その他	-	-	-	
不 明		電話相談	41	19	70	76	
		来所相談	5	-	6		
		その他	-	-	-		

## (3) HIV抗体検査他性感染症検査

表3- (3) HIV抗体検査他性感染症検査受付状況

(単位：件)

年度	性別	H I V抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒血清検査		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 24 年度		457	320	137	403	280	123	405	281	124
平成 25 年度		297	194	103	268	170	98	268	170	98
平成 26 年度		619	432	187	561	389	172	566	393	173

(注) 平成 25 年 2～10 月は仮庁舎のため検査は実施していない。

(4) エイズ相談内容の状況

表3- (4) エイズ相談内容の状況

(単位：件)

相談者の区分	男性	女性	合計
同性間性行為による感染を心配する者	56	-	56
異性間性行為による感染を心配する者	366	170	536
その他の性行為による感染を心配する者	5	4	9
輸血による感染を心配する者	6	4	10
家族、友人の感染を心配する者	8	6	14
母子感染を心配する者	3	2	5
医療機関内感染を心配する者	4	8	12
日常生活での感染を心配する者	15	9	24
一般的なエイズに関する知識、情報を求める者	19	15	34
その他	10	5	15
合計	492	223	715

相談内容	男性	女性	合計
エイズウイルス・疫学に関すること	106	29	135
患者・感染者の発生状況に関すること	87	28	115
症状・発生機序に関すること	145	54	199
検査に関すること	367	132	499
診断（方法）・治療に関すること	146	52	198
感染経路に関すること	70	31	101
社会の差別や偏見に関すること	16	3	19
行政のエイズ対策に関すること	20	8	28
エイズ予防法に関すること	3	2	5
その他	6	1	7
合計	966	340	1306

相談者のうち外国人の人数	男性 -	女性 1	合計 1
--------------	------	------	------

(5) 肝炎ウイルス検査

表3- (5) 肝炎ウイルス検査受付状況

(単位：件)

年度	性別	C型肝炎抗体検査			B型肝炎抗原検査		
		計	男	女	計	男	女
平成24年度		416	286	130	415	284	131
平成25年度		265	165	100	264	166	98
平成26年度		565	390	175	564	389	175

(注)1 肝炎対策事業として早期発見を目的に、平成18年11月から肝炎検査を実施している。

(注)2 平成25年2～10月は仮庁舎のため検査は実施していない。

(6) 肝炎治療特別促進事業

平成 20 年 4 月 1 日から、「千葉県肝炎治療特別促進事業」として、B 型・C 型肝炎に対するインターフェロン治療への公費による助成制度が開始。平成 22 年 4 月 1 日からは、B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療が公費による助成対象として追加された。また平成 23 年 12 月 26 日からは C 型肝炎に対するインターフェロン 3 剤併用治療が公費による助成対象として追加された。平成 25 年 12 月 4 日から C 型肝炎に対するインターフェロン 3 剤併用療法にシメプレビルが助成対象として追加された。平成 26 年においては、9 月 2 日から C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変に対するダクラスビル及びアスナプレビル併用療法が助成対象として追加、11 月 25 日からバニプレビルを含む 3 剤併用療法が保険適用となり、3 剤併用療法の初回治療が助成対象として追加、12 月 15 日からプロテアーゼ阻害剤を含む 3 剤併用療法の再治療が助成対象として追加された。

B 型ウイルス性肝炎及び C 型ウイルス性肝炎の治癒を目的として行う核酸アナログ製剤治療及びインターフェロン治療に関する申請書の受理及び医療費の一部について償還払いを行った。

表 3 - (6) B 型・C 型肝炎に対するインターフェロン治療、B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療、C 型肝炎に対する 3 剤併用療法の公費負担に係る申請状況

	申請者(人)				療養費申請者(人)			
	インターフェロン	アナログ	3 剤併用	インターフェロンフリー	インターフェロン	アナログ	3 剤併用	インターフェロンフリー
平成 24 年度	52	169	18	-	26	22	15	-
平成 25 年度	34	185	19	-	23	21	3	-
平成 26 年度	19	209	22	107	22	25	13	45

(注)1 22 年 4 月 1 日 運用変更

- 1 自己負担限度額の引き下げ
  - ・ 原則 1 万円 (市町村民全課税年額が 23 万 5 千円以上の世帯は 2 万円)
- 2 助成対象の拡大
  - ・ B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療を助成対象として追加
- 3 制度利用回数の規制緩和
  - ・ 一定条件を満たす者について 2 回目の利用を認める

(注)2 23 年 12 月 26 日 運用変更

- 1 助成対象の拡大
  - ・ インターフェロン 3 剤併用療法を助成対象として追加

(注)3 25 年 12 月 4 日 運用変更

- 1 助成対象の拡大
  - ・ インターフェロン治療 3 剤併用療法にシメプレビルを助成対象として追加

(注)4 26 年 9 月 2 日 運用変更

- 1 助成対象の拡大
  - ・ C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変に対するダクラスビル及びアスナプレビル併用療法を助成対象として追加

(注)5 26 年 11 月 25 日 運用変更

- 1 助成対象の拡大
  - ・ バニプレビルを含む 3 剤併用療法が保険適用となり、3 剤併用療法の初回治療を助成対象として追加

(注)6 26 年 12 月 15 日 運用変更

- ・ プロテアーゼ阻害剤を含む 3 剤併用療法の再治療を助成対象として追加